九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[029] 健康科学表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/10783

出版情報：健康科学. 29, 2007-03-31. 九州大学健康科学センター
バージョン：
権利関係：

投 稿 規 定

1．投稿資格

1）本誌への投稿は，原則として九州大学健康科学センター教職員（教官・兼任教官・非常勤講師・技術系職員・名誉教授）および研究生ならびに人間環境学研究科健康行動学講座の大学院生および研究生とする．但し，研究生と大学院生の場合は，指導教官との連名とする．

2）著者が複数の場合，１名が本センターの教職員でなければならない．但し，First Author が本センター以外の場合は，本センターと研究上密接な関係にある者で，特に編集委員会で適当と認めた者とする．

3）本誌への投稿に際し，著者が次の条件を承諾していること．

⑴　投稿論文の内容のいかなる部分も未出版であること，および他の出版物への掲載の予定のないこと．

⑵　投稿論文が受理された場合，その著作権を九州大学健康科学センターに自動的に譲渡すること．

⑶　受理された論文を電子ジャーナル化すること．

⑷　ヒトおよび動物を対象にした論文は，ヘルシンキ宣言（1964年世界医師会総会採択，2000年最終改訂）の方針に沿ったものであること．

2．原稿の種類

原稿は総説，原著論文，研究資料（資料論文），紹介とし，和文または英文とする．

3．原稿の受領と掲載順序

1）原稿は，以下の執筆要項に基づき作成し，編集委員会の指定した日時までに提出されたものとする．

2）編集委員会は，原稿の内容によっては原稿の種類の変更を著者に申し出ることができる．その場合，編集委員会は，執筆者に理由を付し返却する．

3）掲載順序は，編集委員会で決定する．

4．原稿執筆要項

1）本文

⑴　原稿は，原則としてワードプロセッサー等で作成する．投稿にあたっては，プリントアウトした原稿とともにフロッピーディスクを添えて提出する．

⑵　プリントアウトした原稿はＡ４版縦長横書きとし，和文の場合は全角40字30行で，英文原稿は12ポイント程度の活字を用いダブルスペースで作成する．

⑶　フロッピーディスクには，使用機種名，ファイル名等を明記する．フロッピーディスクへの保存はテキスト形式とする．

⑷　提出原稿とフロッピーディスクは，Ａ４版の封筒に入れ，封筒の表に原稿の種類，表題，著者名，連絡責任者，原稿の本文枚数（引用文献を含む），図の枚数，表の枚数，別刷り希望部数を記入する．

⑸　原稿の一枚目には，表題，著者名，および著者の所属先を和文と英文で記載する．また，連絡先となる著者を明示し，その宛先，電話番号，ファックス番号，および電子メールアドレスを和文と英文で記載する．

⑹　総説と原著論文には抄録（Abstract）とキーワード（Keywords）をつける．抄録は本文が和文，英文いずれの場合も英文とし，200～500 words で作成する．キーワードは英文で，３～５語とする．

⑺　本文項目の順番は，緒言（はじめに），方法，結果，考察，(謝辞，注釈)，引用文献の順とし，小項目に見出し番号を付ける場合は，１．２．…，１）２)…，⑴ ⑵…，①②,…の順とする．

⑻　本文中で引用文献に言及した場合，文章の右肩か著者名の右肩に，末尾の文献表に照合する番号をつける．３名以上の共著の場合，“たち”，“ら”，“et al”を用いる．

(例）徳永たち[3]によれば…Kawasaki ら[4]によれば，Komiya et al[5]，Shimizu & Fujishima[6]

2）図表

⑴　図表は，原則として英文で作成する．

⑵　図表の番号は，原則として Fig 1.，Table 1. とする．

⑶　図表はすべて本文とは別紙（１図，１表各１枚）とし，本文の欄外に挿入する箇所を朱書で指定する．

⑷　原図は，そのまま製版可能なものとする．

⑸　特殊な印刷・経費を必要とするもの（例えば，カラー写真など）については，著者負担とする．

３）文献表

⑴　本文中の引用順に番号（片カッコ）をつけ，著者名は省略しないで全員を記入する．

⑵　引用は，下記の例にしたがって記載する．巻数，発行年（西暦年），カッコおよび欧文は半角文字とする．

⑶　欧文雑誌名は，正式な省略形がある場合は省略形を用いるものとする．

―雑誌から直接引用する場合―

著者名（共著者の場合はコンマ（,）で続け，全員を記載）（西暦発行年）：論文表題．掲載雑誌名，巻数（号数を示す必要がある場合は巻数の後に（号数））：始頁ー終頁．

例　１）徳永幹雄，橋本公雄，瀧　豊樹，磯貝浩久（1999）：試合中の心理状態の診断法とその有効性.健康科学，21：41-51.

２）Kawasaki T, Itoh K, Uezono K, Ogaki T, Yoshimizu Y, Kobayashi S, Osaka T, Ogata M, Dhungel S, Sharma S, Acharya GP (1993) : Investigation of high salt intake in a Nepalese population with low blood pressure. J Hum Hypertensi, 7: 131–140.

―単行本から引用する場合―

引用頁の書き方は１頁のみのときは p.(小文字 p の後にピリオド)，複数頁のときは pp.(小文字の pp の後にピリオド)，引用箇所が限定できないときは総頁数を Pp.（大文字の P と小文字の p の後にピリオド）として記載する．

①普通のもの

著者名（西暦年）：書名．版数（必要な場合），発行所，発行地（欧文の場合），始頁ー終頁．

例　３）小宮秀一，佐藤方彦，安河内朗（1988）：体組成の科学．朝倉書店，pp.87–96.

４）Wilmore JH and Costill DL (1994) : Physiology of sport and exercise. Human Kinetics, Champaign, p. 108.

②編集書・監修書

執筆者名（西暦年）：章名，編集者名（編），書名．発行所，発行地（欧文の場合），始頁ー終頁．

例　５）藤島和孝（1993）：現代生活における健康と運動，九州大学健康科学センター（編），健康と運動の科学．大修館書店，pp. 30-31.

６）Williams C (1994) : Diet and sports performance, In Harries M, Williams C, Stanish WD, Micheli LJ (eds), Oxford textbook of sports medicine. Oxford Univerity Press, Oxford, pp. 65-82.

③翻訳書

カタカナ著者名（翻訳者名）（西暦年）：書名．発行所，始頁ー終頁．（原著者名（発行年）：原書名，発行所，発行地）．

例　７）トーマス JR とネルソン TK（宮下充正・片岡暁夫監訳）（1999）：体育・スポーツ科学．大修館書店，Pp.142.（Thomas JR and Nelson TK (1996) : Research methods in physical activity. (3rd ed). Human Kinetics, Champaign).

５．その他

１）初校と第二校の校正は，著者によって行われ，編集委員会の指定した期日内に終えなければならない．第三校の校正は編集委員会が行う．校正による大幅な原稿の修正は認めない．

２）別刷りは50部を無料とする．それ以上の別刷りを必要とする場合は，必要部数を投稿時に申し込む．但し，その分の実費は著者負担とする．

（平成15年12月１日　改正）